

1 調査の目的と流れ

1. 調査の背景と目的

- これまで市街地整備上の様々な課題を抱える「密集市街地」、「地方都市中心部」、「大都市圏」において、それぞれ市街地再開発事業を進めてきているところである。今後、より一層防災性の向上、地域活力の向上、高齢化社会への対応等が求められる中で、緊急性の高い課題に対応可能な事業の推進を図るため、小規模事業を連鎖的に進めていくなど、新たな進め方を最近の事例を通して整理、分析する必要がある。
- 平成 19 年度における密集法の一部改正により、密集市街地対策についての各種制度改正が措置され、市街地再開発事業については第二種についても小規模な事業が展開可能になったところである。今後、密集市街地における市街地再開発事業、防災街区整備事業等の連鎖的な展開を図ることが重要な施策のひとつであり、密集市街地における連鎖的な再開発事業等の推進に関する事業展開方策を検討する必要がある。
- 上記の背景を踏まえ、再開発事業等の実施事例の整理を通して、再開発事業等の共同化事業の新たな進め方のノウハウ集として、地区毎の独自の工夫点や特徴について取りまとめることを目的とする。

2. 調査フロー



